事業区分　社会の要請等に応える体験活動等事業

事業名　ジュニアジオガイド講座

［ **主　催** ］ 国立阿蘇青少年交流の家

［ **共　催** ］ 阿蘇ジオパーク推進協議会

［ **委託元** ］ 環境省 九州地方環境事務所 阿蘇くじゅう国立公園管理事務所

［ **後　援** ］ 熊本県教育委員会　阿蘇市教育委員会

［ **期　日** ］ 第１回 令和７年 10 月 25 日（土）～26 日（日）　【１泊２日】
第２回 令和７年 11 月　１日（土）～ ３日（月・祝）【２泊３日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家、大観峰、役犬原自噴湧水、仙酔峡、中岳火口東展望所、地獄温泉・夜峰山麓、阿蘇立野ダム、加勢川～江津湖、大津町瀬田神社

[参 加 者] ９名（小学生３名　中学生６名）

［ **講　師** ］ 永田　紘樹　　氏（阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局長）
渡邊　裕介　　氏（阿蘇ジオパーク推進協議会 次長）
松原　かおる　氏（環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所）
髙木　政夫　　氏（塩井神社宮総代）
田中　清也　　氏（Go nature 代表、NPO 法人みずのとらベル隊 理事長）

[スタッフ] 職員 ５名　法人ボランティア ７名

1　趣　旨

（１）国立阿蘇くじゅう国立公園・阿蘇ユネスコ世界ジオパークをフィールドとして、阿蘇の草原や火山、水資源について体験を通して学び、阿蘇の魅力について伝えるガイド活動に取り組む。

（２）草原の維持、水資源涵養、世界ジオ認定の継続、世界文化遺産登録実現等の地域課題等について、社会教育の視点からアプローチする。

2　目　標

（１）事業全体を通して参加者の満足度について、９割以上を目指す。

（２）阿蘇について学ぶことやガイドについて考える活動について、肯定的回答９割以上を目指す。

3　事業展開

（１）プログラム（各回の主な活動）

第１回	
１０月２５日（土）	**１０月２６日（日）**
９：３０　受付	６：３０　起床・身支度
１０：００　開会式	７：３０　朝食（レストラン）・退所点検
１１：００　活動①「自己紹介・アイスブレイク」	９：００　活動③「仙酔峡見学」
１３：３０　活動②「大観峰見学」	活動④「阿蘇中岳登山」
１８：００　夕食（レストラン）・入浴	１４：００　仙酔峡帰着・移動（所バス）
１９：００　ガイダンス①「テーマ設定」	１４：３０　交流の家着
２０：００　ガイダンス②「ガイドの伝え方」	１５：００　まとめ
２１：００　振り返り	１６：００　解散
２２：００　消灯・就寝	
第２回	
１１月　１日（土）	**１１月　２日（日）**
９：３０　受付（開会式なし）	６：３０　起床・身支度
１０：４５　活動⑤「阿蘇の水めぐり①」	７：３０　朝食（レストラン）・退所点検
・塩井社水源	１０：３０　活動⑦「カヤック体験」

１３：００　・地獄温泉、夜峰山麓 ・阿蘇立野ダム １８：００　夕食（レストラン）・入浴 １９：３０　振り返り・原稿案作成 ２２：００　消灯・就寝	１４：３０　活動⑧「大津町瀬田神社見学」 １６：００　交流の家着 １８：００　夕食（レストラン）・入浴 １９：３０　振り返り・原稿作成 ２２：００　消灯・就寝
１１月　３日（月） ６：３０　起床・身支度 ７：３０　朝食（レストラン）・退所点検 ９：００　原稿最終チェック １１：００　活動⑨「ジュニアジオガイド」 昼食（注文弁当） １４：００　交流の家着・片付け・まとめ １５：００　閉会式 １６：００　解散	**※実施した実験活動** ・カルデラ実験 ・水のしみこみ方実験 ・流れる川の水実験 ・湧水の仕組み実験

（２）活動の様子


【地層見学】


【国立公園ガイダンス】


【中岳火口東展望所】


【塩井社水源】


【あか牛見学】



【夜峰山麓】


【実験活動】


【カヤック体験①】


【カヤック体験②】


【ガイド活動①】


【ガイド活動②】


【集合写真】

4　評価、成果、課題

（1）評価

質　問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
満足度はどれくらいですか。	回答数（人）	9	0	0	0
	割合（%）	100	0	0	0
阿蘇やガイド活動について学ぶことができましたか。	回答数（人）	9	0	0	0
	割合（%）	100	0	0	0
また参加してみたいですか。	回答数（人）	8	1	0	0
	割合（%）	88	12	0	0

（2）参加者の声

- 阿蘇はいろいろな自然現象が重なって今のきれいな景色ができて、大地が「生きている」という感じがしました。来るたびに新しい発見があって最高です。
- 阿蘇の山の形は火山の噴火だけでなく、水の働きも関係していることが分かった。
- カヤックはうまく操縦するのが難しかった。終わった後も手に水の感触が残っていた。
- カヤックは友達と息をそろえて「協力すること」が大切だと思った。
- 川がどうやってできるか、話を聴いて初めて分かった。
- 火山ガスの影響で山に生える植物が変わることが面白かった。
- 実際にガイドをして予想外なこともたくさんあったけど観光客の人に見てもらうのが楽しかった。
- 阿蘇から離れた場所にも湧き水があることにびっくりした。
- 永田さん（講師）の話がとても分かりやすくて勉強になった。
- 阿蘇の好きなところをうまくまとめることができたと思う。たくさんの人にほめられて嬉しかったです。自分の「声」について出し方を練習してきたので自信がつきました。
- 13 人がガイドを聞いてくれた。うなずきながら聞いてくれて嬉しかった。
- 去年参加した時とちがって、水のことを重点的に学び実験をすることができた。またひとつ阿蘇について詳しくなったので友達に教えてみたい。
- 5 日間を通して阿蘇への興味が深まったし、とても面白かった。去年も参加したけど今年の方が面白かった。来年もできたら参加したい。
- ガイドできるか、原稿が完成するか、とても心配だったけど、うまくできてよかった。
- ボランティアがみんな優しい！
- 私は他の人に声を掛けてガイドできたことが成長だと思った。阿蘇が大好きになりました！

（2）成果

○　阿蘇ジオパーク推進協議会との共催することで、実験活動やガイド内容についての専門性を担保することができた。

○　環境省の職員に同行してもらい、国立公園の成り立ちやルールについて学ぶことができた。

○　アンケート結果では「また参加したい」との声が多くあり、リピーター需要が多い事業となっていることが分かる。

（3）課題

○　最大定員２４名のところ、参加者は９名であった。各活動は実施しやすいものの、参加者増加に向け、実施日や広報活動について見直しが必要である。

○　荒天時でも十分な体験や学びを保障するために、日程調整やプログラムの準備について留意する必要がある。